

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.2.28 時点)

分類		保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比※1 (2019.2.28)	変動理由※2	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,700	m ³	+200 m ³	①②	81 %	193900 / 250700 (77%)	・フランジタンク解体片 2019年2月末時点でコンテナ928基保管。 エリアP1 コンテナ数：670基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：258基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,100	m ³	-100 m ³	③	98 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0 m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	5,200	m ³	+100 m ³	①②	65 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600	m ³	+200 m ³	①	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	43,500	m ³	0 m ³	—	85 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	50,400	m ³	+700 m ³	①④⑤	79 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0 m ³	—	100 %		
	V	屋外集積	0.01	4,700	m ³	+300 m ³	①⑥	79 %			
	AA	屋外集積	0.01未満	8,500	m ³	+400 m ³	①	23 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0 m ³	—	58 %	36800 / 71000 (52%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,100	m ³	微増 m ³	—	88 %		
		P2	シート養生	0.01	5,600	m ³	微増 m ³	—	62 %		
		W	シート養生	0.03	6,500	m ³	-700 m ³	⑦	22 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0 m ³	—	65 %	18900 / 31700 (60%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0 m ³	—	100 %		
		A	仮設保管設備	0.14	1,000	m ³	0 m ³	—	14 %		
		E2	容器※4	0.01	400	m ³	0 m ³	—	24 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	F1	容器	0.01未満	600	m ³	0 m ³	—	99 %	14400 / 45600 (32%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
		Q	容器	0.04	800	m ³	-200 m ³	⑦	14 %		
合計（ガレキ）					264,000	m ³	+1,900 m ³	—	66 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	m ³	微増 m ³	—	63 %	96700 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0 m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0 m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100	m ³	微増 m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0 m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0 m ³	—	94 %			
合計（伐採木）					134,000	m ³	微増 m ³	—	76 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.04	55,500	m ³	+1,300 m ³	⑩	78 %	55500 / 71200 (78%)	・使用済保護衣等焼却量 5261t (2019年2月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1294本 (2019年2月末累積)	
合計（使用済保護衣等）					55,500	m ³	+1,300 m ³	—	78 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物保管 ③砕石取り出しによる減容 ④構内所有者不明物品の受入 ⑤一時保管エリアVへの移動 ⑥一時保管エリアP1からの移動
⑦固体庫9棟へ瓦礫の移動 ⑧一時保管エリアWからの移動 ⑨一時保管エリアQからの移動 ⑩使用済保護衣等の受入

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

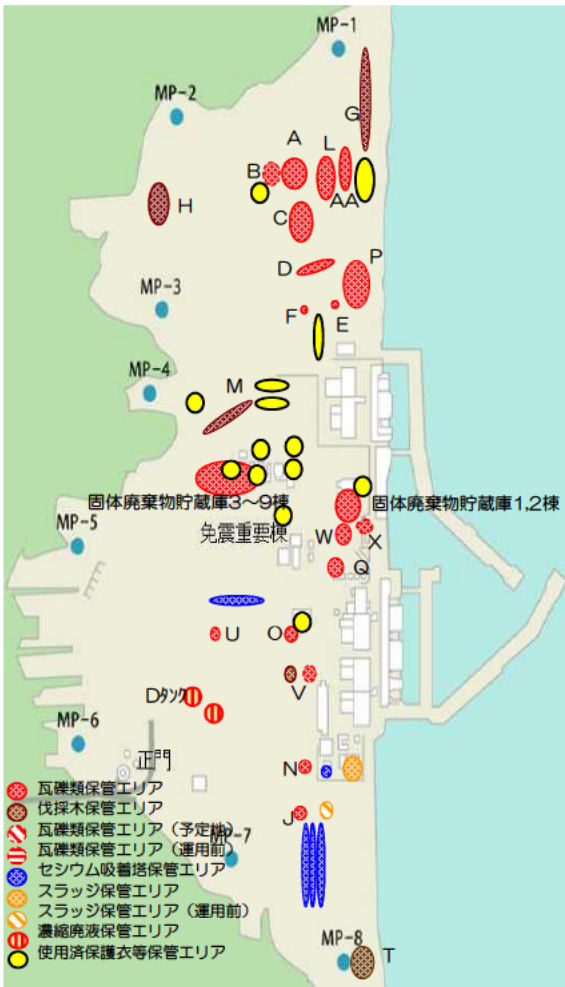
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.3.7時点)

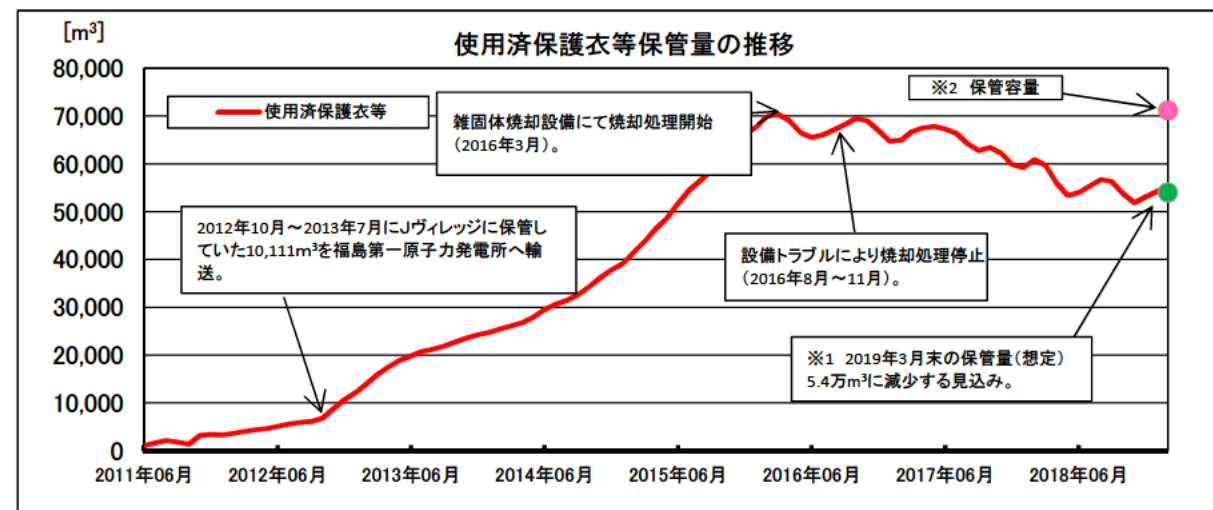
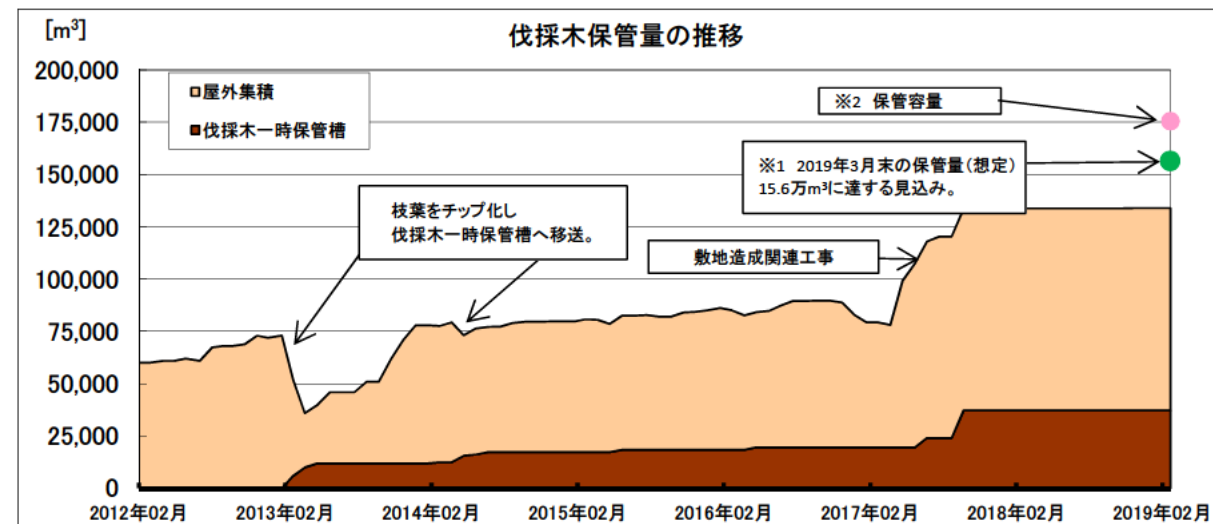
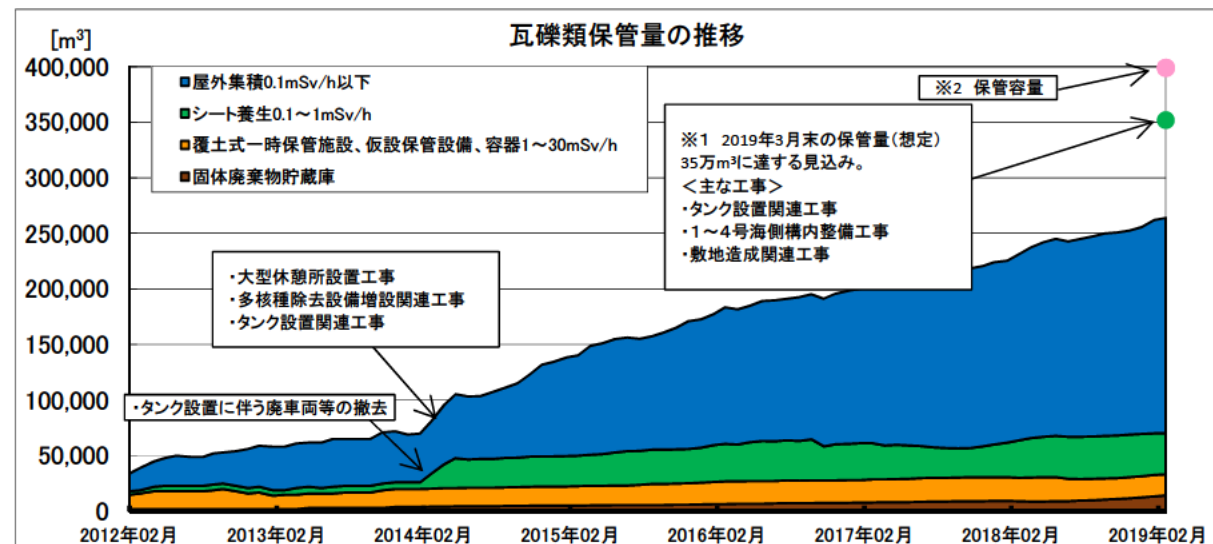
分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2019.2.28)	保管量／保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4300 / 6372 (67%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	210 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設 1,600※1 基	+6 基		
			増設 1,430※2 基	+12 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能 74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	既設 11 塔	0 塔		
	モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		204 本	0 本		
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,330 m ³	0 m ³	9330 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9230 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,600基 【誤】1,583基（2020.3.4）

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,430基 【誤】1,447基（2020.3.4）



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.2.28 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.3.7時点)

